

# 複合施設の PFI による整備と市直営の図書館運営 学校図書館連携、ジャンル別配架、ビジネス支援など

愛知県 安城市図書館

## 基本データ

所在地	安城市御幸本町 504 番地1 (アンフォーレ内)
職員数	82 人
うち司書数	43 人
蔵書数	792,322 冊
利用登録者数	111,502 人
年間貸出冊数	2,178,256 冊
	(児童用図書貸出数 743,318 冊)

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- 直面する課題を迅速に解決し、サービスの継続性と連携を確保するには、直営に勝るものはないと考えます。

## 取組・活動の概要

- 2017 年、新図書館を含む複合施設「アンフォーレ」の整備を機に、新たに取り組んでいる重点サービスは「健康・子育て支援」、「ビジネス支援」、「まちの魅力発見支援」の3つ。
- 子育て支援サービスとして、子育て中の親子のための交流や遊びの空間である「つどいの広場事業」を図書館の中で展開。健康支援室では健康推進課による健康体操やヨガ教室、栄養教室などの健康講座を月に 10 回ペースで開催。
- ビジネス支援センターABC「安城ビジネスコンシェルジュ」には商工課職員とコーディネーターが常駐し、図書館司書のレファレンスや外部データベースとの連携が可能。
- まちの魅力発見支援として約 6,000 冊の「安城資料コーナー」をカウンター隣に設置し、レファレンス対応を容易にしたり、ゆかりの童話作家「なんきちさんのへや」を整備し、関連資料を展示・貸出。
- 開館後の運用面で新たな取り組みは、次の 5 点。
  - ① アンフォーレ本館は PFI（民間資金等活用事業）で整備したが、図書館の運営は従来どおり「市の直営」を維持。
  - ② 図書館フロアにおいても、マナーやモラルの範囲内で会話と飲食を容認。
  - ③ ICT を駆使した最新技術の導入で業務を自動化・省力化し、職員は資料相談・資料案内な

どのレファレンスやフロア案内に専念。

- ④ ジャンル別排架を採用。その象徴的な棚がティーンズコーナーを発展させた大人を含めた図書館初心者向け約 2 万冊の「ら Books」コーナー。
- ⑤ オープンと同時の図書館システム更新に合わせて、小中学校 29 校の学校図書館とシステムを一元化し、小中学校に週 2 回の配送便を回す連携システムを構築。

## 子ども読書の推進、現在進行中！

### 【学校連携】システム+定期配送+学校司書



学校連携イメージ図

### 取組・活動の工夫や特徴

- 図書館が中心市街地の活性化と賑わい創出に資するよう、PFI 要求水準書（設計の前段階）に新たな重点サービスで必要な健康・子育ての諸室整備を盛り込んだ。
- 臨時職員の増員と育成を計画的に進め、スキルアップに努めている。
- 関係各課との協議等により、運用面での改善に努めた。

### 取組・活動の成果や今後の展望

- 学校図書館連携により、年間の団体貸出冊数が従前の5万冊ほどから16万冊超の2.8倍に拡大した。
- 開架回転率が全体で2.62であるのに対し、「らBooks」は7.74と3.3倍であり、ジャンル別配架は貸出にも一定の効果を出している。

